

# 神の愛の本質

シリーズ～預言者の声～

2022/6/19

# ホセア書1章

ユダの王、ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代、イスラエルの王ヨアシユの子ヤロブアムの時代に、ベエリの子ホセアに臨んだ主の言葉。

主がホセアに語られたことの初め。主はホセアに言われた。「行け、淫行の女をめとり／淫行による子らを受け入れよ。この国は主から離れ、淫行にふけているからだ。」彼は行って、ディブライムの娘ゴメルをめとった。彼女は身ごもり、男の子を産んだ。主は彼に言われた。「その子をイズレエルと名付けよ。間もなく、わたしはイエフの王家に／イズレエルにおける流血の罰を下し／イスラエルの家におけるその支配を絶つ。

その日が来ると／イズレエルの平野で／わたしはイスラエルの弓を折る。」彼女は再び身ごもり、女の子を産んだ。主は彼に言われた。「その子を／ロ・ルハマ(憐れまれぬ者)と名付けよ。わたしは、もはやイスラエルの家を憐れまず／彼らを決して赦さないからだ。だが、ユダの家には憐れみをかけ／彼らの神なる主として、わたしは彼らを救う。弓、剣、戦い、馬、騎兵によって／救うのではない。」彼女はロ・ルハマを乳離れさせると、また身ごもって、男の子を産んだ。主は言われた。「その子を／ロ・アンミ(わが民でない者)と名付けよ。あなたたちはわたしの民ではなく／わたしはあなたたちの神ではないからだ。」

# 預言者ホセアの時代

- 北イスラエル王国・ヤロブアムⅡの時代
  - 「ユダの王、ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代、イスラエルの王ヨアシュの子ヤロブアムの時代に、ベエリの子ホセアに臨んだ主の言葉。」1:1
- 主に背いた中での経済的繁栄
  - 「ヨアシュの子ヤロブアムがサマリアで王となり、四十一年間王位にあった。彼は主の目に悪とされることを行い、イスラエルに罪を犯させたネバトの子ヤロブアムの罪を全く離れなかった。しかし、イスラエルの神、主が、ガト・ヘフェル出身のその僕、預言者、アミタイの子ヨナを通して告げられた言葉のとおり、彼はレボ・ハマトからアラバの海までイスラエルの領域を回復した。」列王記下14:23-25

# 北イスラエル王国の王たち2

名前	治世	
アハブ	22年	北王国史上最悪の王
ヨラム	12年	やや悪王
イエフ	28年	エリシャにより油注がれ、バアル神殿を破壊。イゼベルの子らを抹殺
ヨアハズ	17年	悪王
ヨアシュ	16年	悪王
ヤロブアム II	41年	悪王／領土を回復
メナヘム	10年	アッシリアの王プルが攻めてくる
ペカ	20年	ティグラト・ピレセルが攻めてくる
ホシュア	9年	シャルマナサルによりサマリア陥落

# 預言者ホセアへの命令

- ホセアへの突然の命令
  - 「主はホセアに言われた。『行け、淫行の女をめとり、淫行による子らを受け入れよ。この国は主から離れ、淫行にふけっているからだ。』」1:2
  - 性的に墮落していた(たぶん遊女)女性ゴメルとの結婚+彼女の子らの父となる
- 主は、ご自分とイスラエルの民との関係を「結婚」にたとえられた
  - 主なる神という夫がありながら、他の神々を礼拝することは霊的な姦淫(不倫)である
  - ホセアにご自分の気持ちを経験させた

# 子どもの名前による預言

- 第一子：イズレエル

- 「その子をイズレエルと名付けよ。間もなく、わたしはイエフの王家に／イズレエルにおける流血の罰を下し／イスラエルの家におけるその支配を絶つ。」4

- 第二子：ロ・ルハマ

- 「その子を／ロ・ルハマ(憐れまれぬ者)と名付けよ。わたしは、もはやイスラエルの家を憐れまず／彼らを決して赦さないからだ。」6

- 第三子：ロ・アンミ

- 「その子を／ロ・アンミ(わが民でない者)と名付けよ。あなたたちはわたしの民ではなく／わたしはあなたたちの神ではないからだ。」9

## ホセア書2章21～25節

わたしは、あなたととこしえの契りを結ぶ。わたしは、あなたと契りを結び／正義と公平を与え、慈しみ憐れむ。わたしはあなたとまことの契りを結ぶ。あなたは主を知るようになる。その日が来れば、わたしはこたえると／主は言われる。わたしは天にこたえ／天は地にこたえる。地は、穀物と新しい酒とオリーブ油にこたえ／それらはイズレエル(神が種を蒔く)にこたえる。わたしは彼女を地に蒔き／ロ・ルハマ(憐れまれぬ者)を憐れみ／ロ・アンミ(わが民でない者)に向かって／「あなたはアンミ(わが民)」と言う。彼は、「わが神よ」とこたえる。

# ホセアに下った新たな命令

- 再びゴメルを愛せよ(買い戻せ)
  - 「主は再び、わたしに言われた。『行け、夫に愛され  
ていながら姦淫する女を愛せよ。イスラエルの人々  
が他の神々に顔を向け、その干しぶどうの菓子を愛  
しても、主がなお彼らを愛されるように。』」 3:1
  - 「干しぶどうの菓子」とはアシェラ神への供物
  - ゴメルはホセアの元から去っていた
- 今度はゴメルを「買い取った」
  - 「そこで、わたしは銀十五シケルと、大麦一ホメルと  
一レテクを払って、その女を買い取った。」 3:2
  - 「お前は淫行をせず、他の男のものとならず、長い間  
わたしのもとので過ごせ。わたしもまた、お前のもとのと  
どまる。」 3:3

# 神の愛の本質

## 悪条件の愛

### • 最初の結婚

- そもそも性的に墮落していた女性と結婚
- イスラエルの民は元々主なる神以外の神々を礼拝していた>だから十戒の第一戒は…
- 主は承知の上で契約を結ばれた

### • 子どもたちの名前

- 本来なら裁かれ、憐れみを受けられず、民であることもできない

### • 2度目の結婚

- 自分の元を離れた(裏切った)女性を買い戻す
- 主は犠牲を払ってでも結婚関係を保たれる

## 不屈の愛

# 実行に移された神の愛

神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。

ヨハネの手紙4章9～10節

ゴメルとは誰のことでしょう？